

田植えエコツアー

事務局

今年も長野県伊那市長谷の中村さんと地元の方々のご協力を得て、5月21日の土曜日に「環文の楽しい中村田んぼ」にて、田植えエコツアーを行いました。

今年の参加者は事務局を含めて総勢7名です。昨年、渋滞にはまって大変な思いをした経験を生かし、今年はバスではなく、特急あずさに乗って茅野駅へ。茅野駅から長谷村へは、レンタカーで向かいました。長谷村までは途中にある杖突峠を越えて車で1時間ほどの道のりです。杖突峠は、その名のとおり杖を突いて上るくらい急な坂道となっており（実際の名前の由来は違うみたいです）、峠を越えると伊那市にむかって緩やかな下りが続きます。この間、左右には山が連なりますが、新緑の季節ということもあり、緑のコントラストがとても鮮やかな景色でした。また、遠くには雪の残る南アルプスの山々もみることができました。

お昼頃に長谷の中尾座に到着すると、地元の方々の暖かい笑顔に迎えられました。久しぶりの再会に会話が弾みます。さらに、郷土料理を伝える活動をしている小松さんや池上さんに作っていただいた心暖まる手作りの郷土料理を、お腹いっぱいいただき、お土産までいただきました。

お昼を食べ終わったら中尾座で着替えをして田んぼに向かいました。長谷村は、南アルプスと伊那山地の間に位置します。このため峡谷の地域特性を生かして、中村田んぼは棚田になっており、平地にある田んぼとは一味違った風景を私たちに見せてくれます。

靴を脱ぎ田んぼに入ると、足が温かい水と土に包まれ、都会では味わうことのできない感覚を楽しむことができました。田植えといっても、ある程度は地元の方々が田植え機を使って作業を進

めていただいているので、私たちは機械では植えられなかった部分を、手作業で植えていきます。慣れないせいか、それとも年のせいか、15分もすると腰がいたくなってきましたが、みんな一生懸命田植えをしました。

最後に、田植えで余った苗をわけいただきました。伺ったところ、都会でもプランター等を使って稲が育つとのこと。育て方を教えてもらい、さっそく自宅に戻ってから、‘プランター田んぼ’を作りました。長谷村の田んぼ、そしてプランターで植えた稲が育つのが楽しみです。

心暖まる時間を作っていただきました長谷村のみな様、本当に有難うございました。

〈自然と触れ合うエコツアーに行きませんか！〉

秋には長谷村の稲刈りエコツアーを行います。秋は、稲刈りはもちろん、その他にインターン生が地元の方々と色々と企画しております。ぜひともご参加ください。

